

〔国際会議〕

申 請 者	早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 教授 菅野 重樹	2035005
研究集会名	2013 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems	
開催期間	2013 年 11 月 3 日～11 月 8 日	
開催場所	東京ビッグサイト（東京都江東区）	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

IROS（International Conference on Intelligent Robots and Systems）は、1988 年に第 1 回が東京で開催された、日本発のロボットに関する国際会議である。今回が 26 回目となり、ロボットに関する国際会議としては世界最大に成長した。IROS は、IEEE RAS、IEEE IES、日本の RSJ（日本ロボット学会）、SICE（計測自動制御学会）の 4 学会が共催している。

今回の IROS2013 は新たな次の 25 年を目指して、再び東京に戻って開催されることとなり、会議のタイトルも「New Horizon」と名付けた。実行委員長は菅野重樹（早稲田大学）が務め、プログラム委員長は金子真（大阪大学）が務めた。

IROS2013 は、2013 年 11 月 3 日～8 日に東京ビッグサイトの会議棟で開催した。今回は、日本のロボットの研究開発力を世界に示すことを目指し、1 年おきに開催されている国際ロボット展（iREX：日本ロボット工業会主催）と協力して日程と場所を設定した。

IROS2013 の投稿論文数は 2094 件、査読委員会とプログラム委員会による討議の結果、904 件を採択し、採択率は 43% となった。主要国別の論文採択数は、アメリカ：188 件（21%）、日本：154 件（17%）、ドイツ：104 件（12%）であった。論文のキーワードの上位は、移動ロボット、認知、リハビリテーション、ヒューマノイドなどであった。

特別講演は、ボストンダイナミクス社の Dr. Marc Raibert 氏をはじめ 3 名にお願いした。ワークショップは 28 件を採択した。懇親会では、新たな 25 年の始まりを記念して、現在のロボット技術や国際会議の状況を 25 年後に伝える「タイムカプセル」を企画し、封入イベントを行った。最新センサー、初回と今回の IROS の Proceedings などタイムカプセルに封入し、日本ロボット学会で預かっていただき、25 年後の IROS で開封することにした。いずれのイベントも大盛況で好評を得ることができた。

参加者数は IROS の最高記録である 1771 名となり、国際会議として大成功を収めることができた。